

科目ナンバー	PSY-3-008-sn	科目名	心理学研究法Ⅱ		
教員名	則近 千尋	開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	心理学では実験や観察など様々な研究手法があり、それぞれに長所・短所があります。その中で、この授業では、質問紙(アンケート)によって得られた量的データを集計・分析する質問紙法という研究手法を取り上げます。この授業では、少人数グループで実際に質問紙調査を行います。各グループで調べたテーマを考え、仮説をたて、質問紙項目を決定し、作成した質問紙を配布・分析します。最終的に各グループの調査結果を発表してもらいます。				
到達目標	本授業の目標は、質問紙調査を計画し、実施するスキルを習得することと、量的なデータに基いて心のはたらきを理解するために必要な視点を身につけることです。そのために、質問紙研究論文を読んで十分に理解できる力の習得と、検証可能な問いを立てる論理的思考と、SPSSを用いた基本的なデータ分析方法のマスターを目指します。この授業を通して、心の中に浮かんだふわとした疑問を、どのように測定し科学的に検証するのか、という心理学研究の面白さと難しさを経験してもらいます。				
「共愛12の力」との対応					
識見	自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力
共生のための知識	○	自己を理解する力	伝え合う力	○	分析し、思考する力
共生のための態度		自己を抑制する力	協働する力	○	構想し、実行する力
グローバル・マインド		主体性	関係を構築する力		実践的スキル
教授法及び課題のフィードバック方法	本授業は講義とグループワークを併用して進めます。受講者同士4～5名の小グループに分かれ、様々なグループワークをこなしながら、質問紙調査を完遂してもらいます。参加型の授業が中心となりますので、できる限り遅刻・欠席しないようにお願いします。課題は個人で取り組むものもあれば、グループで取り組むものもありますので、授業時間外にもグループのメンバーと連絡を取り合ったり、集まって課題に取り組んだりする必要があります。ワークや課題に対しては、グループまたは個人ごとにコメントによるフィードバックを行います。なお、この授業ではMoodleを使用します。授業のはじめにレジュメを配布するので、必ず確保すること。				
アクティブラーニング	○	サービスラーニング		課題解決型学修	○
受講条件 前提科目	同時使用者数に制限のある統計ソフトウェアSPSSを使用して授業を行うため、受講者の上限は30名とし、履修希望者が30名を超えた場合には、履修制限を行います。止むを得ない事情で第1回の講義に参加できない場合は、事前に担当者に連絡してください。				
アセスメントポリシー及び評価方法	成績評価は講義内ワークと課題(70%)と、期末レポート(30%)で評価します。毎週の講義参加と課題が主な評価点となりますので注意してください。				
教材	教材は授業中に資料・レジュメを配布する。				
参考図書	宮本聡介・宇井美代子「質問紙調査と心理測定尺度―計画から実施・解析まで」サイエンス社、松本豊「改訂新版 心理学論文の書き方―卒業論文や修士論文を書くために」河出書房新社、涌井 良幸・涌井 貞美「史上最強 図解 これならわかる!統計学」ナツメ社、小塩真司「SPSSとAmosによる心理・調査データ解析 第2版」東京図書、山際 勇一郎・服部 環「文系のためのSPSSデータ解析」ナカニシヤ出版※その他の図書は授業中に適時紹介します。				
内容・スケジュール					
1週目					
授業学修内容	オリエンテーション				
授業外学修内容	オリエンテーションで授業について必要な情報を収集した上で、履修手続きをしてください。			時間数	1
2週目					
授業学修内容	質問紙法の基礎知識(データの測定と尺度):心理学の研究手法とそれぞれの長所・短所について概観し、その上で質問紙法がどんな研究の時に用いられるのか考えます。				
授業外学修内容	次回課題で用いる先行研究を読み込んでください。			時間数	4
3週目					
授業学修内容	質問紙研究をみんなで読む:質問紙研究論文の構成と、主要な統計分析結果の読み方を概観します。				
授業外学修内容	復習ワーク			時間数	2
4週目					

授業学修内容	問いの立て方と文献調査:素朴な疑問を検証可能な問いに落とし込む過程を概観します。また文献検索ツールの使い方を身につけます。		
授業外学修内容	文献調査ワークと個人発表準備	時間数	5
5週目			
授業学修内容	調査内容のテーマ決め:先行研究を踏まえて,自分の気になるテーマを探してみましょう		
授業外学修内容	文献調査	時間数	5
6週目			
授業学修内容	質問の仕方を考えて、調査目的を決める:質問紙で検証できる問いの形を概観した上で,各グループで調査目的を固めます		
授業外学修内容	文献調査、グループミーティング	時間数	5
7週目			
授業学修内容	質問紙の作成(項目決め):研究テーマで測りたいものを測定できる質問紙を先行研究から探します		
授業外学修内容	文献調査、質問紙作成	時間数	5
8週目			
授業学修内容	分析方針と仮説:各統計分析手法が検討できる問いを概観した上で,各グループの問いに合った分析方針と仮説を考えます。		
授業外学修内容	文献調査、質問紙作成	時間数	5
9週目			
授業学修内容	質問紙の作成(実際に質問紙を作成する):実際に質問紙を作ります。		
授業外学修内容	質問紙作成、調査準備	時間数	5
10週目			
授業学修内容	質問紙調査のデータ収集:各グループの質問紙を配布,回答します。		
授業外学修内容	質問紙調査の実施、集計	時間数	5
11週目			
授業学修内容	SPSSを使ったデータの分析(データ入力と記述統計)		
授業外学修内容	質問紙調査の実施、集計、データ分析	時間数	4
12週目			
授業学修内容	SPSSを使ったデータの分析(群分けと検定の実行)		
授業外学修内容	データ分析	時間数	4
13週目			
授業学修内容	SPSSを使ったデータの分析(表・グラフの作成)		
授業外学修内容	データ分析、図表作成	時間数	4
14週目			
授業学修内容	質問紙法によるミニ論文の作成と,グループ発表準備:実施した質問紙調査の目的,方法,結果,考察を発表します。		
授業外学修内容	グループ発表の準備	時間数	5
15週目			
授業学修内容	グループ発表		
授業外学修内容	レポート作成準備	時間数	4
上記の授業外学修時間の合計		63	

Number	PSY-3-008-sn	Subject	Research Methods in Psychology II		
Name	則近 千尋 (Norichika Chihiro)	Year and semester	S Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>0 This course introduces students to the quantitative research and statistical analysis in Psychology. Students learn the critical analytic skills to carry out psychological questionnaire research properly. In this course, students will be divided into small groups. Each group design a questionnaire research, and carry out, analyze and report on their own research projects. After performing the surveys, you will learn how to compile and analyze the data each group collected using the statistical analysis software, SPSS. You will present your research study in the last lecture day with your group.</p>				